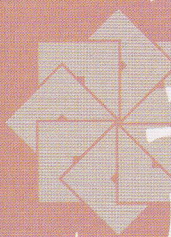


令和七年

片山定期能

十二月公演



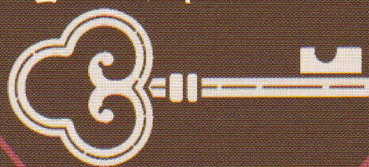
—七十五ノ五

令和7年12月27日(土)

午後1時開演「午後0時30分開場」

(能)東方朔 / 味方玄
(狂言)茶壺 / 茂山逸平
(能)花筐・筐之伝
/ 片山伸吾

ほか



於／京都観世会館

片山定期
能楽会

13:00 能 東方朔 —とうぼうさく—

前シテ／老人
後シテ／東方朔
前ツレ／男
後ツレ／西王母
ワキ／漢武帝
ワキツレ／臣下
ワキツレ／臣下
アイ／官人
アイ／仙人
アイ／仙人
アイ／仙人
アイ／仙人
アイ／桃仁

味方 玄
宮川 卓也
味方 梓
岡 充
原 陸
有松 遼一
山下 守之
茂山千五郎
茂山 茂
島田 洋海
井口 竜也
茂山 竜正

笛 杉 信太郎
小鼓 曾和 鼓堂
大鼓 河村凜太郎
太鼓 前川 光範

地謡 青木 道喜
河村 博重
田茂井廣道
橋本 忠樹
河村 和貴
大江 広祐
浅井 風矢
青木真由人

後見 分林 道治
大江 信行

休憩10分

14:50 狂言 茶壺〈大蔵流〉 —ちゃつぽ—

シテ／すっぱ
アド／中国方の者
アド／目代

茂山 逸平
鈴木 実
茂山千五郎

後見 茂山 虎真

15:15 仕舞 野宮 —ののみや—

シテ／六条御息所の霊

片山九郎右衛門

地謡 武田 邦弘
橋本 磯道
古橋 正邦
河村 和貴

休憩10分

15:35 能 花筐 筐之伝
—はながたみ・かたみのでん—

前シテ／照日前
後シテ／照日前(狂女)
子方／継体天皇
ツレ／侍女
ワキ／官人
ワキツレ／大迹部皇子の使者
ワキツレ／興昇
ワキツレ／興昇

片山 伸吾
河村 和寿
片山 峻佑
宝生 欣哉
宝生 朝哉
渡貫 多聞
小林 努

笛 森田 保美
小鼓 林 吉兵衛
大鼓 谷口 正壽

地謡 片山九郎右衛門
古橋 正邦
分林 道治
大江 信行
橋本 忠樹
大江 広祐
河村浩太郎
浅井 風矢

後見 青木 道喜
田茂井廣道

17:10頃 終了予定

演目解説

漢の武帝が七夕の星祭りをしていると、一人の老人が参内し、「近頃御殿の上を三本足の青鳥が飛び回るのは、西王母が三千年に一度花の咲く桃実をささげる瑞相です。この実をお召し上がりになれば、御寿命は長久であるでしょう。」と語り、さらに自分は東方朔であることを明かし、西王母を連れ再び参内することを告げて消え失せて行く。

やがて仙人や桃の精が現れた後、西王母の桃を食して九千歳にもなった東方朔が皇帝を訪れる。続いて女神の西王母も美しい龍に乗って天下り、武帝に桃実を奉る。これを喜んだ皇帝が管弦の曲を演奏させると、東方朔と西王母は二人で舞を舞う。そして陽が西に傾く頃になると、二人は天上へと消え去るのだった。

『西王母』と同様の題材をモチーフにして、一層祝福のテーマを強調した協能。シテとツレによる『楽(がく)』の相舞、ワキの『真之来序(しんのらいじょ)』での登場、アイの活躍など他の協能とは一味違った異色の能である。

狂言 茶壺 上演時間:約25分

酒に酔って出てきた中国方の使いの者が、茶壺の左の連尺を外し道端に寝込んでしまう。通りかかった昆陽野の宿のすっぱは、外した連尺に左肩を入れ背中合わせに横になる。使いの者が目を覚ますとすっぱも起き、互いに茶壺を自分のものだと言い争いになる。そこへ所の目代が仲裁に入り、それぞれに子細を尋ねる。すっぱは、使いの者が答えたことを立ち聞きして、同じ答えをする。次に使いの者は舞いながら答えるが、すっぱはまた同様に真似をする。そこで目代は同時に舞わせてみるのだが……。

能 花筐 上演時間:約1時間35分

越前国味真野(あじまの)の大迹部(おおあとべ)皇子は、武烈天皇の御位を継ぐことになり、都へと上る。そして使いの者に、日頃寵愛していた照日前への文と花籠を預け届けさせる。照日前は、事の次第と皇子の想いがしたためられた文と花籠を抱きしめ、里へと帰って行く。

一方、即位し継体天皇となった皇子は、大和の玉穗宮を皇居と定める。とある日、警固の官人達に守られながら、紅葉の御遊に出かけた天皇は、その道すがら花籠を持った狂女と出会う。「見苦しい」と官人が籠を打ち落とすと、狂女はこれを「君の形見だ」と敬い、越前で皇子との日々を物語り懐かしむ。狂女はさらに、漢の武帝と李夫人の情愛を描いた曲舞を舞う。その有様を見た天皇は、狂女が照日前であることに気づき、再び自らの下に召し使うことを約束し、ともに都へと還幸されるのであった。

狂女物の中でも、想う相手が天皇という設定のため、他の曲と比べ品格のある優美なつくりとなっている。天皇を『子方』としたのも、恋愛の生々しさを遠ざけるという、実に能らしい演出といえるだろう。

次回公演の御案内

片山定期能1月公演

令和8年1月24日(土)
午後1時開演
[午後0時30分開場]

能 「安宅 勸進帳 酌掛 延年之舞」

狂言 「延命袋」
能 「胡蝶」

古橋 正邦
茂山七五三
宮川 卓也

入場料

[全席自由]

一般前売 4,000円
一般当日 4,500円
学生 2,000円
回数券 17,000円
(五枚綴)

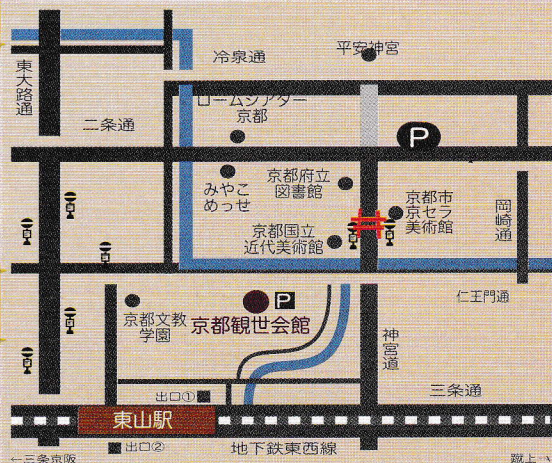
チケット取扱所

京都観世会館

075-771-6114
9～17時 月休

片山定期能楽会事務局

075-551-6535
10～17時 土日休



会場／京都観世会館

京都市営地下鉄東西線「東山」駅下車 徒歩約7分

▽出演者等の変更がある場合は御了承くださいませ。

▽見所内での写真撮影・録画・録音は固くお断り致します(指定業者を除く)。

▽同じく見所内での携帯電話やスマートフォンは、必ず電源をお切り頂きますようお願い申し上げます。
マナーモードも御遠慮くださいませ。